



慶應義塾大学出版会

新刊案内

2024

2月

〒108-8346 東京都港区三田 2-19-30

Tel: 03-3451-6926 / Fax: 03-3451-3124

<http://www.keio-up.co.jp/>



印のついている本には特にご注目下さい。平積みいただければ幸いです。



または



サンリオ出版大全



教養・メルヘン・SF 文庫

小平麻衣子 (慶應義塾大学文学部教授)・井原あや (大妻女子大学専任講師)・

尾崎名津子 (立教大学准教授)・徳永夏子 (日本大学専任講師) [編]

ココに注目!

- ・サンリオが展開した出版や映画事業を、同時代の文化との関わりから多角的に論じる。
- ・『いちご新聞』の元編集長・高桑秀樹氏のインタビュー・講演の他、関係者説話も掲載。

『詩とメルヘン』『いちご新聞』『リリカ』『サンリオ SF 文庫』『映画事業』……

サンリオ創業者の辻信太郎は、詩人やなせたかしの出会いをきっかけに、抒情とヒューマンイズムの夢を追求めて、出版事業に乗り出す。「カワイイ」キャラクター事業のかたわら、数々の出版物を世に送り出した新興企業は、他に類のない多彩な文化事業展開をみせ、多くのファンを獲得していった。消費文化をひた走った1960年代から1980代までのサンリオ出版の時代を、「女性文化」や出版史のなかに位置づける初めての試み。

税込予価 **3,960 円** 四六判上製 / 434 頁

ISBN 978-4-7664-2940-4 C3090

対象：出版史に興味を持つ読者 / 少女カルチャーに興味のある読者

部数：★★★★★

配本予定：2月上旬

【関連書】 牧員司・大森望監修『サンリオ SF 文庫総解説』（本の雑誌社）
嵯峨景子『氷室冴子とその時代 増補版』（河出書房新社）



書影イメージ

【営業部からのおすすめコメント】

先月ご案内した直後より、各所から反響を頂いているこちらの『サンリオ出版大全』。サンリオが出版事業を手掛けていたことに対する驚きのお声、またはサンリオ SF 文庫を実際に読まれていた方からは、発売が待ち遠しいというお声など様々です。今日的な「カワイイ」の文脈とは一線を画しながら、創業以降、多様な文化事業を展開しつつも、あまり顧みられていなかった「サンリオ」の一面を知ることができる、これまでになかった一冊となりました。どうぞご期待下さい!

(吉川)

※本書は、2024年1月号にて、2月イチ押し新刊としてご案内を差し上げております。注文が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。

部数は、★で約500部を表します。



隠された芭蕉



高柳克弘（俳人、俳句結社「鷹」編集長）〔著〕

ココに注目！

- ・注目の若手俳人・高柳克弘氏による待望の芭蕉論。
- ・現代文学としての芭蕉の魅力とはどこにあるのか。
- ・“隠された芭蕉”の俳句の魅力にあらためて光をあて、「俳句」に内包される表現の可能性を探る。

若手俳人として注目される高柳克弘氏による芭蕉論。芭蕉を「現代」の俳人として位置づけ、表現（いかに書くか）と主題（何を書くか）の両面から、“隠された芭蕉”の魅力を描き出し、その表現の可能性を探る。

税込予価 **2,750 円** 四六判上製／264 頁
ISBN 978-4-7664-2942-8 C0095

対象：松尾芭蕉、俳句を中心とした古典詩歌に
関心のある一般読者

部数：★★★★

配本予定：2 月上旬

類書 加賀乙彦〔著〕『わたしの芭蕉』（講談社）

【営業部からのおすすめコメント】

著者の高柳克弘氏は「NHK 俳句」をはじめとする多数メディアへの出演経歴をもつ注目の若手俳人です。修士論文でも芭蕉論を執筆し、それ以降の歳月も、芭蕉を考察し続けることが現在の俳句を考察することと直結していたという高柳氏が、今回満を持して展開する芭蕉論。正岡子規・高浜虚子以降に形成された俳句観の枠組みでは十分に解き明かすことのできない新たな芭蕉の魅力を追究します。数多くの芭蕉論が世に出ている現在も、いまだその魅力は語りつくされていないと感じます。ぜひ、積極的な展開をご検討ください。

（福本）

【主要目次】

芭蕉、寂びることなく——感情表現

未踏の旅へ——時間表現

いかに読み応えを出すか——比喩表現

失われた技術——風景描写

世界の不思議に目を見はる——理屈を超えて

調和を拒む——虚実

仮面の誠実——主体

重力からの解放——軽み

明るい器——死を詠む・その1

あの死者は我——死を詠む・その2

痛みの詩学——旅

価値を創り出す——笑い

十七音の俳論——俳句で俳句を語る

参考文献目録

あとがき

著者既刊

どれがほんと？ 万太郎俳句の虚と実

高柳克弘 著

定価 **1,760 円** 四六判上製／184 頁 ISBN 978-4-7664-2513-0 2018 年 4 月

※本書は、2024 年 1 月号にて、2 月イチ押し新刊としてご案内を差し上げております。注文が重複した場合には「多い方の発注数」にて対応させていただきます。



または



信頼と裏切りの哲学 平積み

永守伸年（立命館大学文学部准教授）〔著〕

 ココに注目！

- ・「信頼とは何か」を包括的な視野で論じる最初の1冊。
- ・裏切られる可能性に打ち勝つ、「信頼」の力を提示する。

裏切られるかもしれないのに、私たちはなぜ、どのようにして人を「信頼」するのか。日常に溢れる様々な事例を紐解き、ホップス、ヒューム、カントの社会契約論や現代の研究成果を参照しながら、「信頼」とその可能性を哲学する。

税込予価 **2,860 円** 四六判並製／272 頁

ISBN 978-4-7664-2945-9 C3010

対象：哲学研究者／大学で哲学を専攻する
大学生・院生

部数：★★★★

配本予定：2 月上旬

 類書 青山拓央『幸福はなぜ哲学の問題になるのか』（太田出版）
デイヴィッド・デステノ『信頼はなぜ裏切られるのか』（白揚社）

【主要目次】

序 信頼の謎を掘り起こす

第1章 裏切りの誘惑に抗う——認知的信頼

第2章 善意のしるしと、裏切りの痛み——感情的信頼

第3章 制度とともに生きる——制度的信頼

第4章 裏切らない理由を求めて——信頼の多層構造

第5章 不信の力を見きわめる——自由と抵抗の拠点として

結論

著者既刊

カント 未成熟な人間のための思想 想像力の哲学

永守伸年 著

定価 **4,950 円** A5 判上製／292 頁 ISBN 978-4-7664-2627-4 2019 年 9 月



国際安全保障がわかるブックガイド

赤木完爾（慶應義塾大学名誉教授）・国際安全保障学会〔編〕

🔍 ココに注目！

- ・複雑化する安全保障問題をどのように考えればよいのか。
- ・第一線の専門家たちによる、国際安全保障を理解するための入り口となるブックガイド。
- ・古典的名著からテーマ別の重要書まで、背景・概要とその現代的な位置づけをコンパクトに紹介。

日本をとりまく安全保障問題が複雑化するなか、この状況をどのように理解すればよいのか。誰もが知る古典的名著から地政学や核戦略、サイバー兵器にいたるまで、安全保障問題をひもとくための書籍を、細谷雄一氏や岩間陽子氏、鈴木一人氏、小泉悠氏をはじめとする第一線の研究者たちが紹介する。1冊につき見開き2ページの分量にて123冊を紹介する充実のブックガイド。

税込予価 **2,200 円** A5 判並製／280 頁
ISBN 978-4-7664-2933-6 C3031

対象：国際政治、安全保障に関心のある
一般読者や大学生

部数：★★★★

配本予定：2 月中旬

📖 ジョセフ・S. ナイ ジュニア、デイヴィッド・A. ウェルチ
『国際紛争』（有斐閣）

【主要目次】

- I 古典（トゥキディデス『戦史』、クラウゼヴィッツ『戦争論』、マハン『海上権力論集』他）
- II 国際政治論
（モーゲンソー『国際政治』、ウォルツ『国際関係の理論』、ミアシャイマー『大国政治の悲劇』他）
- III 冷戦と冷戦後（ギャティス『ロング・ピース』、下斗米『アジア冷戦史』、ウォルト『同盟の起源』他）
- IV 外交史・軍事史・思想史・国際法
（カー『歴史とは何か』、マズワー『暗黒の大陸』、クラーク『夢遊病者たち』他）
- V 国際問題—現状と展望
（フレイヴェル『中国の領土紛争』、船橋『ザ・ペニンシュラ・クエスチョン』他）
- VI 戦争論・戦略論・戦争研究・地政学・軍隊
（『マッキンダーの地政学』、ハンチントン『軍人と国家』他）
- VII 核兵器と核戦略
（ベリー他『核のボタン』、シェリング『軍備と影響力』、ロバーツ『正しい核戦略とは何か』他）
- VIII 内戦・テロリズム・サイバー・テクノロジー
（アーミテージ『内戦の世界史』、サンガー『サイバー完全兵器』他）
- IX 近代日本の安全保障（1868—1945）
（ソーン『満州事変とは何だったのか』、近衛『最後の御前会議』他）
- X 現代日本の安全保障（1945—）
（吉田『回想十年』、高坂『世界地図の中で考える』、読売『再軍備』の軌跡）他）
- XI テキスト・基本図書（ナイ他『国際紛争』、防大編『安全保障学入門』他）